本研究大会では要綱配布を電子版のみによって行います。事前に本要綱をダウンロード、もしくはプリントアウトしていただくことを推奨します。

日本文化政策学会
第 16 回年次研究大会
「文化政策と地域創生」

大会開催要綱
(最終版)

2023 年 3月18日（土）・19日（日）

会場：芸術文化観光専門職大学

主催　　日本文化政策学会

後援　　芸術文化観光専門職大学

目次

開会挨拶 **3**

「文化政策と地域創生」が交差する地へようこそ！ **4**

大会概要 **5**

プログラム・スケジュール **6**

3月18日(土) 7

3月19日(日) 10

若手企画 17

発表者へのお願い **18**

懇親会・昼食・宿泊 **19**

アクセス **20**

会場平面図 **22**

エクスカーション・プログラム **24**

開会挨拶

日本文化政策学会第 16 回年次研究大会 実行委員長
藤野一夫

大都市圏から離れた日本の地域社会は超少子高齢化によって衰退を続けています。東京一極集中の弊害が指摘されて久しいにもかかわらず、政治、経済、芸術文化の中央集権化は是正されていません。地元の高校を卒業した若者たちは、大都市の大学に進学し、その大半は都市圏の企業に就職します。とくに大半の女性は出身地に戻ってきません。豊岡大会が開催される兵庫県北部の但馬地域もまた、急激な過疎化に見舞われています。但馬の面積は東京都とほぼ同じですが、人口は 15 万人。首都の１%あまりしか住んでいません。また、150 万都市の神戸は、但馬の面積よりもずっと狭いのです。このような人口動態、経済、文化面での大きな南北格差から、兵庫県は「日本の縮図」とも言われています。

しかしながら但馬地域は、多様な気候風土と伝統文化を有しています。とくに自然景観の多様性に恵まれ、また城崎温泉など有数の温泉保養地、数多くのスキー場や海水浴場があります。画一的な近代化から取り残された僻地であるがゆえに、但馬地域に固有の多様な自然資源と文化資源が残されているのです。近代化に遅れた地域にこそ未来へのチャンスがある。そのための構造転換を引き起こすのが、観光と連携した文化政策のミッションでしょう。パフォーミングアーツのアーティスト・イン・レジデンス（AIR）である城崎国際アートセンター（KIAC）の名声が世界各地にまで広がっています。また、演劇的手法を取り入れたコミュニケーション教育が但馬全域の初等・中等教育で展開され、さらに 2019 年に始まった豊岡演劇祭は、観光業にとっても福音となっています。

このように近年、但馬地域では、芸術文化と観光を架橋したまちづくりが成果を上げ、地域再生の切り札として注目を集めています。けれども、但馬地域には 4 年制大学が一つもなく、県立大学の設立は地域住民の悲願でした。2017 年、設立準備委員会が発足し、2018 年には県庁の中に設立準備室が設置されました。文部科学省による設置認可が下りたのはコロナ禍の 2020 年 10 月。政治経済的な環境も激変する中で、このチャンスを逃したらアウトという奇跡的なタイミングでした。

こうして但馬地域を舞台に、芸術文化と観光を通じて世界に通用するインターローカルなリーダーを育てるために、2021 年４月、芸術文化観光専門職大学が開学しました。このことは、日本の文化政策の歴史におけるエポックと言えるかもしれません。

さて、2019 年 12 月の埼玉大会が懐かしく甦ってきます。コロナ禍でオンライン開催を強いられた足掛け 3 年、わたしたち誰もが対面での交流を熱望してきました。まだ予断は許されませんが、一人でも多くの会員のみなさまに豊岡にお運びいただき、わずか人口 7 万 8000 人のまちで、いま何が起きているかを、ぜひ全身で感じ取っていただければ幸いです。実行委員会を代表して、みなさまとお会いできますことを心待ちにしております。

「文化政策と地域創生」が交差する地へようこそ！

日本文化政策学会第 16 回年次研究大会 プログラム委員長
古賀　弥生

2021 年、兵庫県但馬地域・豊岡に開学したばかりの芸術文化観光専門職大学においでいただけますことを心より歓迎申し上げます。

第 16 回年次研究大会は「文化政策と地域創生」をテーマとしました。芸術文化観光専門職大学は兵庫県北部の但馬地域の活性化をミッションの一つとして設立された県立大学です。日本各地の状況とも共通し人口減少・少子高齢化に悩むこの地域において、芸術文化と観光による貢献を求められるこの大学で開催される大会のテーマとして、提示させていただきました。ちなみに「地域創生」とは、「地方創生」と呼びならわされることが多いなか、「東京」に対する「地方」ではなく、それぞれの個性が輝く「地域」を打ち出したいと、あえて選んだ表記です。

このテーマに沿って、今大会では初日の３月 18 日（土）午後に２つのシンポジウムを開催します。

シンポジウム１「芸術文化観光の可能性と人材育成」は、2020 年５月の「文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律」の施行により、各地域で文化と観光の関係が問い直されていく中で、地域における芸術文化観光の可能性について考察するものです。法律制定の背景や考え方を踏まえ、大会開催地である豊岡で展開されている豊岡演劇祭の挑戦、芸術文化と観光をつなぐ人材育成の取り組みなどから文化観光推進の課題とその解決の方向性などを探ります。

シンポジウム２「食文化と地域創生」では、広い意味での文化遺産ともいうべき食などの地域資源を地域創生に結び付ける取り組みに着目します。大会開催地である豊岡市のコウノトリの野生復帰への取り組みを環境と経済にも結び付ける政策が行われており、また、豊岡市を含む但馬地域は「食の宝庫」とも呼ばれているからです。経済の活性化だけではない持続可能な地域づくりについての事例紹介を含め、それらと文化政策との関連を検討します。

各分科会、企画フォーラムも、充実した内容のエントリーを数多くいただいており、活発な議論が展開されますことを期待しているところです。コロナ禍の影響による予定変更の可能性を見据えながらも、懇親会やエクスカーションも企画しました。みなさまのご参加をお待ち申し上げております。

大会概要

日　時　　2023 年 3 月 18 日（土）・19 日（日）
会　場　　芸術文化観光専門職大学
参加費　　会員（一般・学生ともに） 1,000 円
　　非会員（一般・学生ともに）3,000 円
　　※当日申込は各 1,000 円増
　　※企画フォーラム及び若手ポスターセッションのみ参加する非会員は無料
申込み　　お申込みフォーム (https://jacpr2022.peatix.com/view)

主　催　　日本文化政策学会
後　援　　芸術文化観光専門職大学

◎参加申込／入会申込に関する問合せ先
日本文化政策学会事務局
　〒113-0033 東京都文京区本郷 2-16-10-701
　日本文化政策学会事務局（美学出版 内）
　TEL：03-5937-5466 FAX：03-5937-5469
　E-mail：jacpr_office@jacpr.jp ／　URL：http://www.jacpr.jp/

◎発表／プログラム等に関する問合せ先
日本文化政策学会第 16 回年次大会実行委員会事務局
〒668-0044 兵庫県豊岡市山王町 7-52
芸術文化観光専門職大学
李知映研究室
E-mail: jacpr2022toyooka@gmail.com

※e-mail でのお問い合わせにご協力をお願いいたします。
※事務局は非常勤につき、問い合わせの返信は数日お時間いただきますがご了承ください。

プログラム・スケジュール

＜全体日程＞

日時		内容	場所	常設
3/17（金）	18:30~	若手研究者による 前夜祭	1階　A101	
3/18（土）	9:30～	受付開始	1階エントランス	
	10:30～12:30	企画フォーラムⅠ	3階　C311-C312, B301	10:00-18:00 若手企画 情報交流 スペース 3階 オープン スペース
	11:10～12:30	分科会Ⅰ	1階　A101-A103	
	13:30～14:00	開会式及び表彰式	劇場 （静思堂シアター）	
	14:15～15:45	シンポジウムⅠ		
	16:00～18:00	シンポジウムⅡ		
	18:30～20:30	懇親会	アールベルアンジェ	
3/19（日）	9:00～	受付開始	1階エントランス	
	9:10～9:25 9:30～9:45	エクスカーション①	（劇場ホワイエ集合） 実習棟・学術情報館	9:30-16:30 若手企画 情報交流 スペース 3階 オープン スペース
	10:00～12:00	分科会Ⅱ	1階　A101-A103	
	10:00～12:00	企画フォーラムⅡ	3階　C311-C312, B301, B303	
	12:10～13:10	ポスターセッション コアタイム	3階	
	12:15～13:15	理事会	4階　第3会議室	
	13:20～14:20	総会	劇場 （静思堂シアター）	
	14:30～ 16:30	分科会Ⅲ	1階　A101-A103	
	14:30～16:30	企画フォーラムⅢ	3階　C311-C312, B301, B303	
	17:30～20:00	エクスカーション②	（1 階入口集合） だいかい文庫 豊岡劇場	
3/20（月）	10:00～11:15	エクスカーション③	（現地集合） 城崎国際 アートセンター	
	13:40～14:40	エクスカーション④	（現地集合） 江原河畔劇場	

3月18日(土)

企画フォーラムⅠ

時　間：10:30〜12:30
会　場：3 階 C311-C312、B301

企画フォーラムⅠ–A
「Anti-Oppressive Practice の視点からアートの現場を共に考える
:逡巡する時間と空間をめぐって」

企画代表者：
齋藤 梨津子（National University of Singapore Cultural Research Centre）

共同企画者：
南田明美（静岡文化芸術大学）
風間勇助（東京大学）
大蔵真由美（松本大学）
竹丸草子（長岡造形大学）

ゲストスピーカー：
二木泉（トロント大学/オンタリオ州認定ソーシャルワーカー）

企画フォーラムⅠ–B
「文化政策における行政の専門性
―文化政策担当部局に配置される専門職を対象に―」

企画代表者：
熊田知晃（明治大学経営学部助手）

登壇者：
西川伸一（明治大学政治経済学部教授）
鬼木和浩（横浜市文化観光局文化芸術創造都市推進部文化振興課課長（主任調査員））
野田邦弘（横浜市立大学大学院都市社会文化研究科客員教授）

分科会Ⅰ

時　間：11:10〜12:30（①11:10〜11:45 ②11:50〜12:25）
会　場：1 階 A101、A102、A103

分科会Ⅰ–A　「海外の文化政策」
座長：藤井慎太郎（早稲田大学）
副座長：朝倉由希（公立小松大学）

発表者：
1. 長嶋由紀子（東京大学大学院人文社会系研究科研究員）
「フランス文化首都」の制度設計
―自治体文化政策の持続的発展を促す文化の祭典」
2. 新地 真之（早稲田大学比較法学研究所招聘研究員）
「ASEAN 地域統合における文化の役割 〜インドネシアのケースから考える〜」

分科会Ⅰ–B　「音楽とまち、音楽コンクール」
座長：藤野一夫(芸術文化観光専門職大学)
副座長：松本茂章(文化と地域デザイン研究所・法政大学)

発表者：
1. 西岡怜那（九州大学大学院博士後期課程）
「音楽コンクールによるまちづくりに関する一考察 ―浜松市と仙台市の事例」
2. 高島知佐子（静岡文化芸術大学）
「国際音楽コンクールの運営と支援のあり方
―1980-1990 年代設立の日本・イギリス・アメリカのコンクールを事例に―」

分科会Ⅰ–C　「ミュージアム・教育」
座長：大澤寅雄（ニッセイ基礎研究所）
副座長：土屋正臣（城西大学）

発表者：
1. 井上卓己（文化庁）
「ミュージアムの価値を活かした地域政策とエコシステム
〜改正博物館法の歴史的意義〜」
2. 玄田悠大（東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士後期課程・独立行政法人職員）
「我が国における田園都市構想の受容に関する一考察
―新教育との関係性に着目してー」

開会式及び表彰式

時　間：13:30～14:00
会　場：劇場（静思堂シアター）

開会式
　開会挨拶：藤野一夫（日本文化政策学会会長・芸術文化観光専門職大学）

学会賞表彰式
　審査員コメント：友岡邦之（日本文化政策学会副会長・高崎経済大学）
　賞状授与：小林真理（日本文化政策学会副会長・東京大学）
　受賞者スピーチ：中村美帆（日本文化政策学会理事・青山学院大学）

シンポジウムⅠ

時　間：14:15～15:45
会　場：劇場（静思堂シアター）

「芸術文化観光の可能性と人材育成」

登壇者：
　中尾智行（文化庁参事官（文化観光担当）付 博物館支援調査官）
　平田オリザ（芸術文化観光専門職大学学長・劇作家・演出家）

モデレーター：
　片山泰輔（静岡文化芸術大学）

シンポジウムⅡ

時　間：16:00~18:00
会　場：劇場（静思堂シアター）

「食文化と地域創生」

登壇者：
　下仲隆浩（小浜市文化遺産政策専門員）
　濱崎加奈子（京都府立大学准教授・伝統文化プロデューサー）
　兵藤未希（豊岡市コウノトリ共生課コウノトリ共生係長）
　井原麗奈（芸術文化観光専門職大学）

モデレーター：
　太下義之（同志社大学）

懇親会

時　間：18:30～20:30
会　場：アールベルアンジェ豊岡

3月19日(日)

分科会 II

時　間：10:00〜12:00（①10:00〜10:35 ②10:40〜11:15 ③11:20〜11:55）
会　場：1 階 A101、A102、A103

分科会 II –A　「メディア・コミュニティ」

座長：松本茂章（文化と地域デザイン研究所・法政大学）
副座長：小泉元宏（立教大学）

発表者：

1. 山﨑康史（早稲田大学大学院政治学研究科ジャーナリズムコース博士後期課程 1 年）
「『文化政策』はどう語られたか
―日本における新聞報道 30 年（1993-2022）の内容分析・言説分析―」
2. 角田陽一郎（東京大学人文社会系研究科文化資源学研究専攻博士課程）
「メディアプロデュースの構造とエンターテイメントビジネスの変化
来るべき新たなメディア・ビジネス・ビジョン」
3. 岩井千華（北海道美唄市教育委員会地域おこし協力隊（生涯学習））
「農村コミュニティにおける表出された女性の力
〜北海道美唄市グリーンルネサンス事業と美唄市中村地区を事例として〜」

分科会 II –B　「アートプロジェクト・市民参加」

座長：吉田隆之（大阪公立大学）
副座長：長津結一郎（九州大学）

発表者：

1. 韓河羅（東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科博士後期課程 2 年）
「アートNPO の運営の実際と課題
―自治体と協働するアートプロジェクトの現場を中心として―」
2. 藤原旅人（九州大学大学院工学研究院附属アジア防災研究センター特任助教）
「展覧会事業に参画した市民の意義に関する研究
〜コモン概念とリゾーム構造の視点から、奈良美智展弘前 2002-2006 を事例に〜」
3. 中村まい（お茶の水女子大学大学院博士後期課程）
「阿波踊りの企業連に見られる参加者の多様性を生み出す要因
―よさこい鳴子踊りの企業チームとの比較を通じて―」

分科会Ⅱ–C　「文化財・伝統芸能」

座長：井上敏（桃山学院大学）

副座長：滋野浩毅（京都産業大学）

発表者：

1．谷地田未緒（国立アイヌ民族博物館・大阪公立大学）
「無形文化財と無形民俗文化財に関する考察
：文化財『アイヌのユーカラ』を事例に」

2．奥野耕平（同志社大学大学院総合政策科学研究科博士後期課程）
「豊田市足助伝統的建造物群保存地区からみる継承可能な文化財保護に関する研究」

3．小泉真理子（京都精華大学マンガ学部）
飯塚まり（同志社大学大学院ビジネス研究科）
「日本の伝統実演芸術に包含されている持続可能な経営の仕組みに関する研究
：能を事例として」

企画フォーラムII

時　間：10:00〜12:00
会　場：3 階 C311-C 312、B301、B303

企画フォーラムII–A
「文化政策の専門性とは何か〜学芸員制度を考える〜」

企画代表者：
土屋正臣（城西大学）

パネリスト：
小林真理（東京大学）
井上卓己（文化庁文化戦略官・博物館振興室長）
佐々木秀彦（アーツカウンシル東京企画部企画課長）

モデレーター：
土屋正臣（城西大学）

企画フォーラムII–B
「コロナ禍の文化政策の国際比較から日本の文化政策を展望する」

企画代表者：
朝倉由希（公立小松大学）

共同研究者：
菅野幸子（AIR Lab）
作田知樹（Arts and Law）
秋野有紀（早稲田大学）
長嶋由紀子（東京大学）
閔 鎭京（北海道教育大学）

ゲストコメンテーター：
星野有希枝（文化庁文化経済・国際課グローバル展開推進室室長）

企画フォーラムⅡ–C
「音楽祭を支える地域組織『友の会』の持続可能性」

企画代表者：
熊田知晃（明治大学経営学部助手）

登壇者：
古木圭介（霧島国際音楽祭鹿児島友の会顧問）
福壽浩（霧島国際音楽祭鹿児島友の会会長）
中堀清哲（霧島国際音楽祭きりしま友の会会長）
亀石和孝（霧島国際音楽祭きりしま友の会事務局）
宮脇宏（草津夏期国際音楽アカデミー友の会専務理事）
中澤隆（草津夏期国際音楽アカデミー友の会理事）

ポスターセッション

時　間：12:10〜13:10　コアタイム
会　場：3 階

理事会

時　間：12:15〜13:15
会　場：4 階第 3 会議室

総会

時　間：13:20〜14:20
会　場：劇場（静思堂シアター）

分科会III

時　間：14:30〜16:30（①14:30〜15:05 ②15:10〜15:45 ③15:50〜16:25）
会　場：1 階 A101、A102、A103

分科会III–A　「多文化共生」
座長：川井田祥子（鳥取大学）
副座長：古賀弥生（芸術文化観光専門職大学）

発表者：

1. 谷口彩（SAI Co-Cre Labo）
「文化政策と見えない障害―障害者基本法や障害者施策の定義から外れた議論」
2. 槇原 彩（成蹊大学文学部芸術文化行政コース客員講師）
「共創的芸術実践による障害理解の可能性
―成蹊アートプロジェクト 2022「マノ・マ ノ・ムーチョ!」を事例としてー」
3. 南田明美（静岡文化芸術大学講師）
「音楽を通した「文化的コモンズ」の形成
：浜松市 A 地域の外国につながる児童とのアライのあり方を考える（2）」

分科会III–B　「劇場・文化ホール」
座長：小林真理（東京大学）
副座長：太下義之（同志社大学）

発表者：

1. 岡本 彩（東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究専攻修士課程 1 年）
立石 訓人（東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究専攻修士課程 1 年）
ベルクマン・アンネグレート（東京大学大学院人文社会系研究科特任准教授）
小林 真理（東京大学大学院人文社会系研究科教授）
「無形文化財保護のための国立劇場の果たす役割
―組踊をはじめとした沖縄伝統芸能と国立劇場おきなわの事例を通してー」
2. 藤原惠洋（九州大学名誉教授・公益財団法人竹田市文化振興財団理事長）
「竹田市総合文化ホール〈グランツたけた〉黎明期における地域貢献型事業の評価と課題
〜人口縮少都市における公共ホールのミッション再定義ならびに自治体文化政策の検討〜」
3. 山口真由（7 度）
「地方都市の劇場がアート機能・コミュニティ機能を両立するための、活動プロセスの
分析　―鳥取県鳥の劇場における劇団員・地域住民へのインタビュー調査から」

分科会Ⅲ–C　「自治体文化政策」

座長：伊藤裕夫（日本文化政策学会顧問）

副座長：中村美帆（青山学院大学）

発表者：

1. 堀内まゆみ（北海道大学教育学院博士後期課程）
   「札幌市のコミュニティ生成と文化芸術における創造性に関する研究」
2. 岩瀬 智久（静岡県浜松土木事務所）
   「地方自治体文化振興計画の評価に見る政策評価の現状と課題
   ―都道府県、政令指定都市の事例から―」
3. 田中淳士（京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程１年）
   「文化を支えるための理論―梅棹忠夫と松下圭一の提言からの検討―」

企画フォーラムIII

時　間：14:30〜16:30
会　場：3 階 C311-C 312、B301、B303

企画フォーラムIII–A
「文化的価値をどう評価するか?」

企画代表者：
中村美亜（九州大学）

登壇者：
熊谷薫（東海大学）
石幡愛（合同会社アートロジー）
大澤望（一般社団法人インパクト・マネジメント・ラボ）
中村美亜（九州大学）

企画フォーラムIII–B
「ろう者・聴覚障害者のオンガク／音楽の鑑賞環境の向上を目指して」

企画代表者：
萩原昌子（九州大学大学院博士課程後期）

登壇予定者 ：
牧原依里（映画作家/聾の鳥プロダクション代表）
古川実利（特定非営利活動法人神奈川県中途失聴・難聴者協会副理事長）
柿塚拓真（（公財）神戸市民文化振興財団事業部　演奏担当課長）
長津結一郎（九州大学大学院准教授）

モデレーター ：
大澤寅雄（ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室主任研究員）

企画フォーラムIII–C
「アートボランティア モヤモヤの正体を見つめる 〜静岡の事例をもとに〜」

企画代表者：
井原麗奈（芸術文化観光専門職大学）

登壇者：
高島知佐子（静岡文化芸術大学）
繁田和美（しげたかずみデザイン事務所)）
高橋晃一朗（NPO 音楽の架け橋メセナ静岡）
鈴木一郎太（アーツカウンシルしずおか）（オンライン参加）

若手企画

「若手研究者による前夜祭」

企画代表者：
中村まい（お茶の水女子大学）、風間勇助（東京大学）、熊田知晃（明治大学）
登壇者：
小島寛大（アーツマネージャー/同志社大学大学院経済学研究科）
齋藤梨津子(シンガポール国立大学)
島袋美由紀（琉球大学琉球大学地域共創研究科）
長谷川仁美（Academy of Fine Arts Vienna）
韓河羅（東京藝術大学）
堀内まゆみ（北海道大学教育学院身体文化論講座）
山田直子（商社勤務/放送大学大学院修士課程修了）
吉水由美子（立教大学社会デザイン研究所）

概要：
　文化政策の学際的な研究では、多分野のさまざまな研究者との交流が研究をより良いものにしていくと考えます。しかし、学会に所属したての若手研究者は懇親会でも所在なく、ベテラン研究者との会話のきっかけをつくることが難しいと感じています。所属する大学が文化政策やアートマネジメントの専門領域でない他の分野であれば、なおさらです。そこでまず、懇親会の前に若手の自己（研究）紹介を行い、若手がどのような分野に興味・関心を抱いているのかを参加者全体で共有します。事前に共通の話題を共有することで、新たなつながりが生まれることを目指します。

タイムテーブル：
3月 17 日（金）
18 時　　開場（会場：芸術文化観光専門職大学教育研究棟 A101 教室）
18 時 30 分～　　若手研究者の自己紹介（1 人 3 分、ライブ配信予定）
19 時～　　交流会
19 時 30 分～　　懇親会へ移動開始（20 時から豊岡市役所近くの「紀ノ川」を予定）

発表者へのお願い

Ⅰ．研究発表及び企画フォーラム

（1）会場でのコピーサービスはいたしかねます。資料配布を希望される方は、30 部以上のレジュメの事前準備をお願いします。
注）会場最寄りのコンビニまでは 10～15 分かかります。

（2）報告者は、報告される会場に分科会開始の 10 分前に会場にお集まりください。座長・報告者による簡単な打ち合わせ等が行われる場合があります。

（3）プロジェクターの使用を希望される方は特に次の点にご注意ください。

①開催校では機材の動作確認等含め、できるかぎり報告者への協力をいたしますが、機材操作等については報告される方の自己責任にてお願い致します。特に、コンピュータ関連の接続や、データ形式等にご注意ください。万が一、機材が作動しない場合に備えて、印字原稿やスライド印刷資料をご用意頂く等の方策を取っていただくことをお勧めします。

②機材を利用される報告者は、スライドのデータを USB に入れてご持参ください。分科会開始の **15 分前**に会場にお集まりいただき、各自、会場設置のノート PC（Windows）でスライドの操作確認をお願いします。

③ご自身のノートパソコン（Mac）をご使用になる場合は、プロジェクターへの接続が滞る場合がありますので、必ず分科会開始の **15 分前**にお集り下さい。接続状況によっては、会場設置のノートパソコン（Windows）をご使用いただく場合もございます点、ご了承ください。

※分科会会場には、プロジェクターの他に、①ノート PC（Windows）、②HDMI ケーブル、③VGA ケーブルを用意してあります。その他、発表に必要な機材やコネクタ等は、各自ご用意ください。

※パソコンについては、ワード、エクセル、パワーポイント等の基本ソフトについてはインストールされていますが、それ以外のソフトをご使用の場合は、ご自身でパソコンを持ち込んでください。

※当日参加者、各分科会の参加者数について把握しかねますので、ご了承ください。

Ⅱ．ポスターセッション

（1） 発表方法

① コアタイムは、必ずご自身のポスターの前で発表して下さい。
（コアタイムは、3 月 19 日（日）12:10～13:10 です）

② 音の出る発表資料は不可となります。

（2）ポスター仕様

①ポスター展示用パネルは、1800H 900W です。

②ポスターサイズは、A１（594×841）縦でも横でも貼れます。
なお、A0（841×1189）縦 一枚貼りも対応できます。

③１m離れても判読できる程度の文字の大きさ。

④各人が印刷の上、当日ご持参下さい。

懇親会・昼食・宿泊

（1）懇親会は予約制となります。必ず事前申し込みをお願いします。
・懇親会会場　アールベルアンジェ豊岡
（https://www.bellclassic.co.jp/kinki/toyooka/）
・参　加　費　一般（会員・非会員ともに）：6,500 円
学生（会員・非会員ともに）：4,000 円
・申　込　み　お申込みフォーム (https://jacpr2022.peatix.com/view)
・申込み締切　**3 月 10 日（金）**

（2）お弁当をご希望される方は事前申し込みをお願いします。
・お弁当代（お茶付き）：1,000 円
・申　込　み　お申込みフォーム (https://jacpr2022.peatix.com/view)
・申込み締切　**3 月 10 日（金）**
※会場から 1 番近いコンビニは徒歩 10〜15 分程度の距離にあります。
※地元焙煎のホットコーヒーを販売します。数に限りがあるため、併せてご予約ください（珈琲チケット 2 杯分付き学会参加費（会員）1,800 円、珈琲チケットは温かい緑茶か紅茶にも変更可）。
※珈琲チケット、お弁当代の一部は学生の懇親会費の補填に使用します。ご了承ください。

（3）休憩・飲食には、1 階は A101-103 教室およびフリースペース、3 階は B301-303 教室およびフリースペースをご利用ください。

（4）宿泊、列車・飛行機チケット等についての斡旋は行っておりません。お早めの予約をお願いいたします。

物販

（1）本大会では原則、書籍等の物販は取扱いいたしません。

（2）文化政策研究上、貴重な文献・資料であり、かつ書店やアマゾンなどの流通に乗らないものの場合に限り頒布していただけます。

（3）頒布に際しては、関係者ご自身が販売に関する実務を担当され、実行委員会は場所と机の提供のみ行います。会場への事前送付は受け付けられません。

（4）チラシ類も実行委員会は場所と机の提供のみ行います。関係者ご自身が設置、撤去をお願いいたします。

（5）資料等の頒布、チラシ類の設置を希望される方は 3 月 11 日（土）までにメールで事務局に申請をお願いいたします。

アクセス

芸術文化観光専門職大学
〒668-0044 兵庫県豊岡市山王町 7-52
JR 豊岡駅から大学までのご案内（https://bit.ly/Maptocat）

()

但馬の特殊事情にご注意ください！！

■電車でお越しの方
・JR 山陰本線　豊岡駅より徒歩 10 分。
　Google Map (https://www.at-hyogo.jp/about/access.html)
　大学までのご案内　(https://bit.ly/Maptocat)
・特急は全席指定席です。自由席がありませんので、予約が無いとご乗車いただけません。早めにご予約ください。（ https://www.jr-odekake.net/goyoyaku/e5489/ ）
・JR 豊岡駅：「みどりの窓口」は無人、「みどりの券売機」と「みどりの券売機プラス」の 2 つしかありません（混雑時はご注意ください）。
・JR 城崎温泉駅：「みどりの窓口」は有人、「みどりの券売機」あり。
（観光客が多く、混雑時は並ぶので、ご注意ください）
・JR 江原駅：「みどりの窓口」は有人（但し 1 名）、「みどりの券売機」なし。

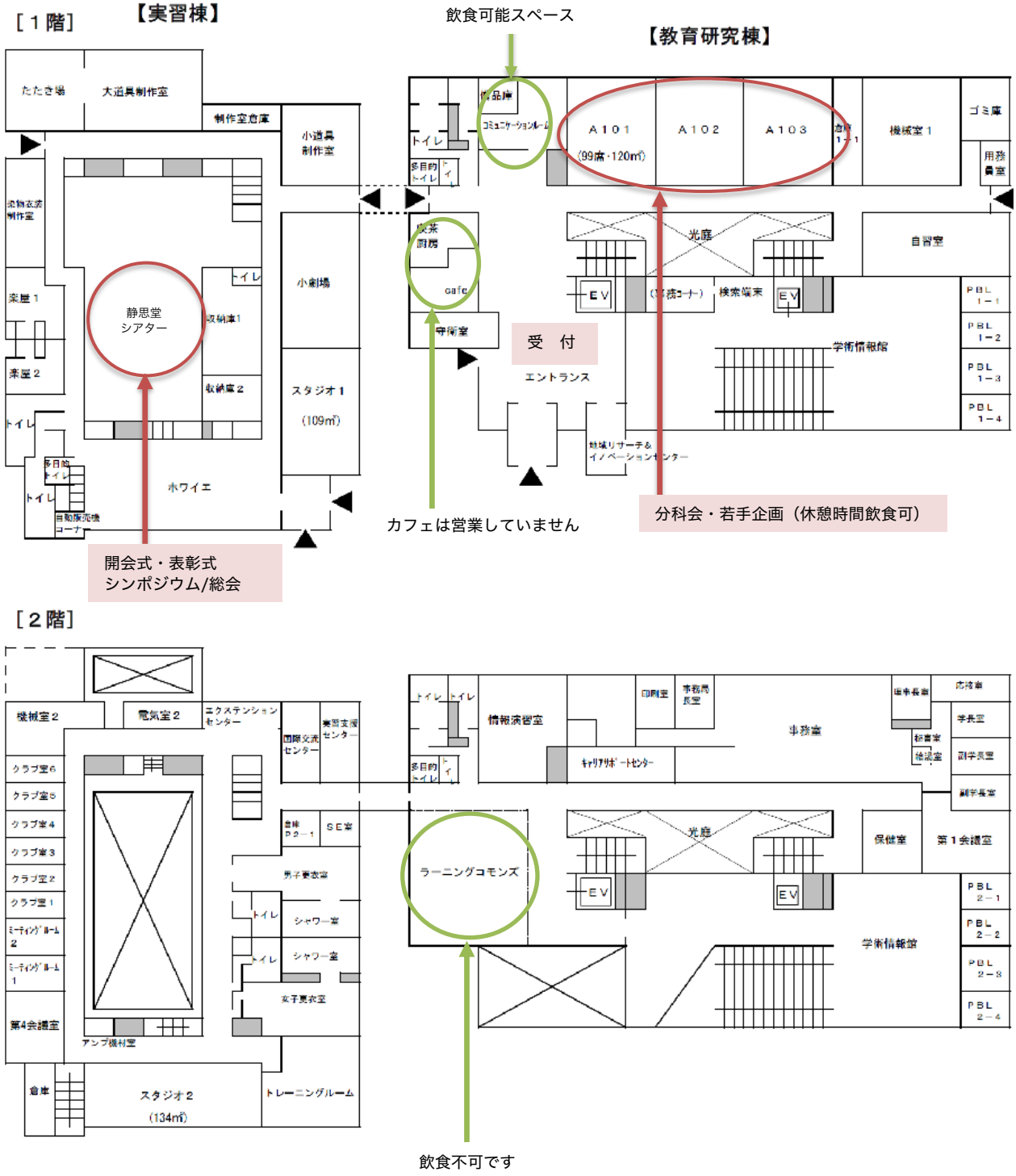
■飛行機でお越しの方
・伊丹ー但馬を一日 2 往復する便があります。JAC 所有による ATR 双発機のため、座席が 70 席程度です。ご希望の方は、お早めにご予約ください。
　https://www.tajima-airport.jp/
・霧の発生、豪雨などの悪天候により欠航となる確率が高いです。天気予報をご確認の上、ご予約ください。欠航の場合、航空会社からバスかタクシーの代替交通サービスの情報提供があります。(https://www.tajima-airport.jp/alternative-traffic/)
・コウノトリ但馬空港から会場までバスで約 14 分所要。料金は 320 円。
　※但し、1 日 2 本（ 09:45 発／17:45 発）
・コウノトリ但馬空港から会場までタクシーをご利用の場合は 3,600 円程度。
　※事前予約が必要。

■駐車場について
　JR 豊岡駅前のパーキング（有料）をご利用ください。
　(https://www.city.toyooka.lg.jp/kurashi/dorokotsu/chushajo/1001093.html)

＊上記情報は 3 月までに変更になる可能性があります。よくお確かめの上、ご計画ください。

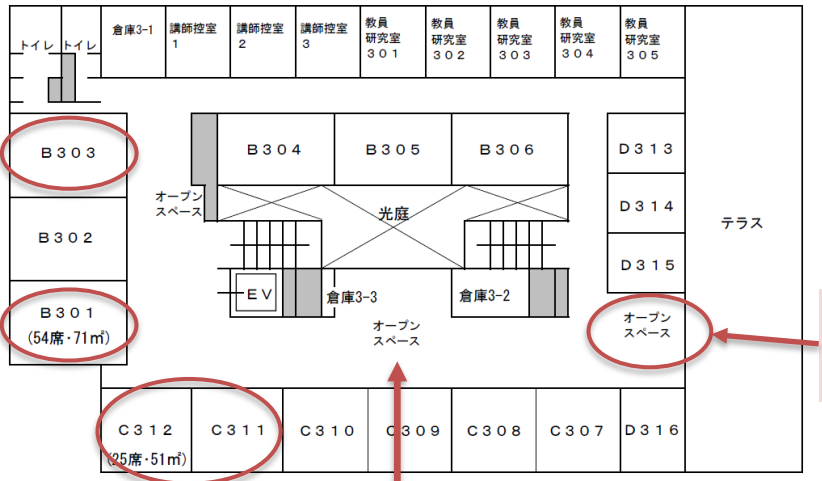
会場平面図

教室等配置図



【教育研究棟】

［３階］



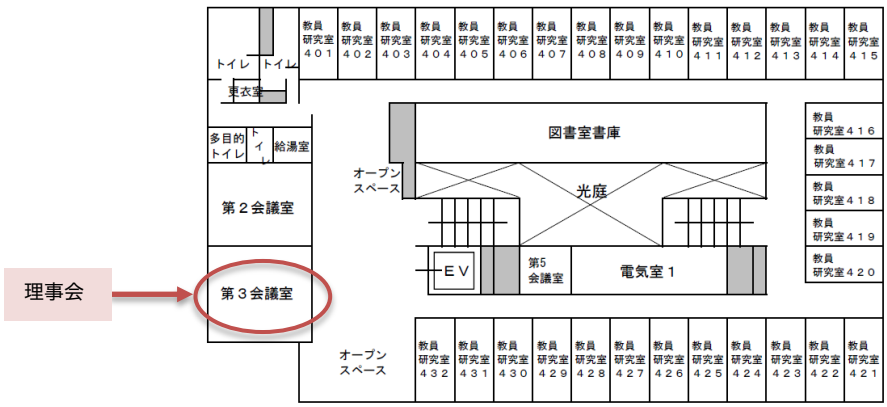
企画フォーラム
（休憩時間飲食可）

若手企画
情報交流
スペース

ポスターセッション（飲食可）

企画フォーラム

［４階］



理事会

エクスカーション・プログラム

以下の 4 つのエクスカーションを予定しています。
ご参加を希望される方は、大会参加申込時に併せてお申し込みください。
■参加費：各回 500 円（一般・学生/会員・非会員ともに/但し大学実習棟は無料です）
※大会受付にて現金にてお支払いください。
（KIAC と江原河畔劇場の両方に参加される方は合わせて 1,000 円です）
※エクスカーションの参加費の一部は学生の懇親会費の補填に使用します。ご了承ください。
■お申込み：芸術文化観光専門職大学実習棟 (https://bit.ly/excursion0319_1)
~~だいかい文庫＆豊岡劇場 (bit.ly/excursion0319_2)~~ （締切済み）
城崎国際アートセンター＆江原河畔劇場 (https://bit.ly/excursion0320)
■申込み締切：3 月 12 日（日）まで（ただし定員設定のあるものは上限に達し次第締切）

エクスカーション ①　芸術文化観光専門職大学（実習棟・学術情報館）
3 月 19 日（日）9：10/9：30　定員各回 20 名（先着順）
学会開催校の芸術文化観光専門職大学の実習棟をご案内します。スタジオ 1⇒小劇場⇒小道具製作室⇒大道具製作室⇒染物衣装室⇒楽屋⇒スタジオ 2⇒劇場 2F（音響・照明卓周辺）⇒学術情報館を巡ります。
＊芸術文化観光専門職大学(https://www.at-hyogo.jp/facility/campus.html)

エクスカーション ②　だいかい文庫＆豊岡劇場
~~3 月 19 日（日）17：30 定員 10 名（先着順）~~ （締切済み）
商店街の空き店舗を活用した私設図書館であり社会的処方の場でもある「だいかい文庫」と、昭和 2 年開業（現在は休館、市民団体による復活に向けて活動中）の映画館「豊岡劇場」を巡ります。関係者のお話もうかがえます。いずれも豊岡市の中心部にあり、大学から徒歩（約 20 分）で移動します。
＊豊岡劇場 HP (https://toyogeki.jp/)
＊だいかい文庫 HP (https://carekura.com/daikaibunko/)

エクスカーション ③ 城崎国際アートセンター（KIAC）
3 月 20 日（月）10：00）定員なし
兵庫県豊岡市が運営するパフォーミング・アーツを中心とした芸術活動のための日本最大級の滞在制作（＝アーティスト・イン・レジデンス）を行う文化施設です。滞在アーティストを年 1 回の公募で選定し、滞在制作を支援すると同時に、主催事業では学校等でのワークショップなども行っています。今回は館長の志賀玲子さんから施設についてのご説明をいただき、館内の見学をします。
＊KIAC HP (http://kiac.jp/)

エクスカーション ④ 江原河畔劇場
3 月 20 日（月）13：40　定員なし
2020 年に、旧豊岡市商工会館を改築し、世界への発信を行うと同時に、地域の文化拠点となることを目指して開館した劇場です。劇団「青年団」の新たな本拠地となった建物で、劇場スタッフにご説明いただき、施設内を見学します。文字通り河畔の劇場です。劇場からの円山川の眺めもお楽しみください。
＊江原河畔劇場 HP (https://ebara-riverside.com/)

スケジュール

3 月 19 日（日）

エクスカーション ①　芸術文化観光専門職大学（実習棟・学術情報館）

9 時 10 分	大学の静思堂シアター（実習棟）ホワイエ集合
9 時 30 分	いずれも 15〜20 分程度の見学後 解散

エクスカーション ②　だいかい文庫＆豊岡劇場

17 時 30 分	大学のエントランス集合／徒歩で移動（引率あり）
18 時 00 分	だいかい文庫到着
	説明・視察
18 時 45 分	視察終了／徒歩で移動
19 時 00 分	豊岡劇場到着
	説明・視察
20 時 00 分	終了・現地解散

3 月 20 日（月）

エクスカーション ③ 城崎国際アートセンター（KIAC）

10 時 00 分	KIAC エントランス集合
	説明・視察
11 時 15 分	視察終了（KIAC のみ参加の方は現地解散）
	（各自昼食・散策）
13 時 05 分	城崎温泉駅発（豊岡駅で乗換が必要）
13 時 29 分	江原駅着

エクスカーション ④ 江原河畔劇場

13 時 40 分	江原河畔劇場エントランス集合（江原のみ参加の方はこの時間に集合）
	説明・視察
14 時 40 分	視察終了・現地解散

＊城崎温泉駅⇄KIAC、城崎温泉駅〜江原駅〜江原河畔劇場は引率しません。
各自ご移動願います。
＊朝に豊岡駅から電車で移動の場合

- 豊岡駅 8 時 41 分発、城崎温泉駅 8 時 53 分着
  （城崎温泉駅から KIAC まで徒歩 20 分/タクシー5 分/バスはありません）
- 7 時から開いている外湯：鴻の湯、御所の湯、一の湯、地蔵湯
  (https://kinosaki-spa.gr.jp/about/spa/7onsen/)
- 城崎文芸館は 9 時から開いています（ https://kinobun.jp/ ）

＊城崎温泉ロープウェイ（https://kinosaki-ropeway.jp/）は始発 9 時 10 分ですが、
ご利用の場合は KIAC 視察後をお勧めします。
＊城崎での昼食はこちらをご参考ください。
(https://kinosaki-spa.gr.jp/directory_cat/restaurant/)
＊江原駅周辺には観光スポットはありません。
早く移動してゆっくり昼食を食べたい方は以下をお勧めします。
城崎温泉駅 11 時 40 分発 江原駅 12 時 08 分着
割烹高砂 HP：(https://www.takasago.jp.net/lunch/)
（不定休のため事前の営業確認をおすすめします）
＊14 時 55 分江原駅発の特急きのさき 18 号があります。
（京都駅 17 時過ぎ、大阪駅 17 時半頃、品川駅 19 時半頃到着可）

エクスカーションでは訪問しませんがオススメです！

①出石永楽館 (http://eirakukan.com/)
近畿最古の芝居小屋です。公演日、貸館日以外は内部の見学が可能です（確認の上、ご訪問ください。）入館料 400 円。かつて出石藩は５万８千石の城下町だったため、町並みも美しいです。皿そばでも有名です。電車が通っていないため、豊岡駅からバスかレンタカーでどうぞ。

②玄武洞 (https://genbudo-park.jp/)
美しい石柱（柱状節理）が見られます。観覧料大人 500 円、学生 300 円。
豊岡駅か城崎温泉駅からタクシーかレンタカーでどうぞ。
直線距離の最寄りは玄武洞駅ですが、玄武洞は円山川の対岸です。雨が降っていなければ玄武洞駅から渡し船があります。玄武洞ミュージアムへ電話で確認してください。
(https://genbudo-museum.jp/news/763/)

会場の近隣施設の位置関係

豊岡駅ー城崎温泉駅
電車約 12 分
普通列車は1時間に1本
特急に乗ると特急料金がかかります

城崎温泉駅ー KIAC
徒歩 20 分程度

江原駅ー江原河畔劇場
徒歩 5 分程度